

拜啓 今般同志相謀り故高橋健三氏  
の言行録を編纂し來る七月の一週忌  
と期し知人に相頒ち度と存候何卒御  
賛成の上氏の言行細大となく御承知  
の件々來る四月三十日迄に神田駿河  
臺東紅梅河岸十一號瀧精一方へ御報  
道被下度尙追悼の詩歌文章等とも附  
綴致度候間御投稿願上候艸々

明治三十二年二月

藤田隆三郎  
神鞭知常  
山田喜之助  
陸實  
平岡萬次郎  
瀧精一

# 大隈重信殿

追而印刷費豫算大凡金五百圓は廣く生前知  
人の義捐を募りて相辨し度候に付き多少に  
拘はらず御喜捨被下候はゞ望外の幸に候



大隈重信殿

十二日 早稲田

東京神田駿河臺東紅梅河岸十一號

瀧藤田隆精  
神田隆三  
山田喜之  
陸田喜之  
平岡萬次郎  
助常郎一